７月１日発行号から10月15日発行号まで、過去の紙面から８号分の一面を抜粋、読者の皆様と共に小紙の50年を振り返ります。第５回目は１９８５年12月１日発行の第２００号です。

昭和60年／１９８５年
第200号　12月１日発行

防衛ホーム

（昭和49年11月22日第三種郵便物認可）
毎月１・15日発行　１部75円

発行所　防衛ホーム新聞社
〒162 東京都新宿区市ヶ谷本村町3-26
電　話（03）268－0711㈹
大阪支社　〒556 大阪市浪速区元町1-7-24
北村ビル３Ｆ
電　話（06）632－8781㈹

主な記事
２面　海自・第21航空群
３面　音楽祭り、共同訓練
６面　論陣、人事異動
７面　地連ニュース
10・11面　写真ニュース
13面　寄せ書き
14面　家庭のひろば
15面　読者のページ、マンガ
16面　テレビ、編集メモ
求職アンテナは
４・５・12面

海自・第21航空群（館山）を訪ねて

洋上防衛、港湾ガードに活躍

護衛艦から飛び立った21航空群ヘリ…対潜水艦訓練が始まっている

搭載ヘリ部隊　護衛艦と緊密プレー

海上自衛隊に対潜ヘリコプター専門の部隊がある。千葉県・館山基地に司令部を置く第二十一航空群（群司令・藤井勝利海将補）だ。シーレーン防衛で不可欠なのは護衛艦隊だが、潜水艦を相手にした闘いでは、護衛艦に搭載されている対潜ヘリの働きが重要なポイントとなっている。このヘリの母隊が二十一航空群なのである。同群には他に陸上基地を中心にして重要な港湾を守る対潜ヘリ部隊があり、離島からの救急患者空輸でも活躍、島の住民に頼りにされている。今回、このバラエティーに富んだ活躍を行っている同群を訪ね、群司令をはじめ隊員たちから、その任務や現場での苦労などを聞いた。

（川合俊樹記者）

対潜作戦から急患空輸まで

多彩な任務を帯びた〝精鋭チーム〟

半年間は海上勤務

艦載ヘリ部隊　身軽な対潜哨戒が身上

房総半島の南端にある千葉県館山市は、里見八犬伝で有名な里見家の城下町。今も城が残っている。観光、水産の町で人口は五万五千人。南総一帯に点在する多くの観光地への出発点ともなっている。気候は温暖で年中花が咲いているといった土地柄だ。

海上自衛隊・館山基地は同市が浦賀水道に向かって持つ館山湾―通称〝鏡ヶ浦〟―の南西に突き出た埋め立て地。戦前、旧海軍航空隊のために造られた百十五万平方㍍の敷地に所在している。航空基地としては狭いが、長い滑走路を必要としないヘリ部隊だから今のところ間に合っているようだ。

ヘリの発着場を見下ろす管制塔から、晴れた日には浦賀水道の向こうに三浦半島南端の城ヶ島が見えるという。つまりこの基地は、東京湾の入口を見張れる位置にあるわけだ。陸上基地用対潜ヘリの部隊、第二十一航空群第一〇一航空隊は、重要な港湾都市がひしめく東京湾外域の対潜哨戒の任務を持っている。

同群には四つの航空隊があり、陸上基地用ヘリ部隊は既述の一〇一航空隊と、徳島県小松島市に分屯している小松島航空隊で、こちらは阪神地区の港湾を守っている。他の二つが艦載ヘリ部隊で、一つは館山基地に所在する第一二一航空隊、もう一つが長崎県大村市に分屯している第一二二航空隊である。一二一空のヘリは主に横須賀を母港とする護衛艦に、一二二空のヘリは主に佐世保を母港とする護衛艦に搭載される。

護衛艦への搭載・搭載解除の要領は、例えば一二一航空隊ヘリの場合、訓練のため横須賀を出港した護衛艦が館山沖に来た時、基地を飛び立って艦に搭載、訓練を終えて再び館山沖に戻ってきた時、艦から飛び立って基地に戻るという形になる。

艦載ヘリには一機に二チームがつき、一チームは正操縦士、副操縦士、主航空士、副航空士の四人で構成されている。二チームは通常八時間交替、搭載期間は通常一週間で、長い時は一ヵ月、米海軍との共同訓練では三〜四ヵ月に及ぶこともあるそうだ。艦載ヘリ部隊の隊員はトータルして一年の半分ぐらいは海上にいることになる。「同じ隊の仲間と二、三ヵ月、顔を合わさないこともある」（パイロットの高橋宗義一尉（つき））というのもうなずける。

対潜ヘリと他の対潜哨戒機、P―3CやP―2Jとの大きな違いは、やはりヘリが護衛艦の甲板に発着できるということだろう。広い範囲をカバーするP―3Cなどと比べると航続距離は短いが、護衛艦に搭載されれば外洋における行動が可能となる。護衛艦が対潜哨戒の働きを必要とした時は艦載ヘリがすぐさま対応、艦艇との密接なチームプレーが展開することができる。艦載ヘリは対潜作戦チームの強力なポイントゲッターなのだ。

同時に５機が発着できる館山基地のヘリ発着場

2面へつづく

時代を読んだ勉強をしてみませんか？
●システムエンジニア入門コース
（61年1月開講・６ケ月コース）
ＳＥをめざす人に、短期間で実力が身につく。
●プログラマー養成コース
（毎月開講・通信教育あり）
今もっとも人材が不足しているプログラマー養成実習教室。
●貿易実務セミナー
（毎月開講・個人指導方式）
就職に直結した実務教育。
大阪校　☎06―245―9731
神戸校　問合せは大阪校まで
新宿校　☎03―361―5031
上野校　☎03―836―2591
横浜校　☎045－313－1691
※案内書無料進呈。詳しくは各校までお問合せ下さい。
※就職は営業部門が完全指導。
輸研実務学院

1985年はこんな年だった！？

【主なできごと】
３月　国際科学技術博覧会（つくば万博）開催
３月　ソ連でミハイル・ゴルバチョフが書記長に就任
４月　民営化でＮＴＴ・ＪＴが誕生
５月　男女雇用機会均等法が成立
８月　日本航空123便墜落事故発生
８月　初の日本人宇宙飛行士誕生（土井隆雄、内藤千秋、毛利衛）
９月　ファミコンソフト「スーパーマリオブラザーズ」発売され大ヒット
11月　阪神タイガースが初の日本一

【オリコンベスト年間シングルトップ５】
１位　ジュリアに傷心／チェッカーズ
２位　ミ・アモーレ／中森明菜
３位　恋におちて／小林明子
４位　Ｒｏｍａｎｔｉｃが止まらない／Ｃ－Ｃ－Ｂ
５位　あの娘とスキャンダル／チェッカーズ

【流行語】
金　賞　「イッキ！イッキ！」
銀　賞　トラキチ
銅　賞　角抜き
大衆賞　「私はコレで会社をやめました」
「投げたらアカン」

【ヒット商品】
・ミノルタα－7000（ＡＦ一眼レフカメラ）
・ＣＤプレーヤー
・「テレホンカード」
・「ファミリーコンピュータ」（攻略本ブームも）
・女性保険
・分割前払い旅行券